

あかるいまち21

冬の特別増資月間 開催中！！

No.1391 2021年3月17日組合員活動推進課 082-532-1264

	3月	2020年度
組合員ふやし	59人	1,378人
出資金ふやし	784万円	15,025万円
純増	▲43万円	3,236万円

3月15日 ついに、出資金増やし
総代会目標の1億5,000万円達成

純増3,000万円もキープ中



広島市西区役所厚生部地域支えあい課と懇談 健康づくりと子育て支援に協力を

3/12（金）健康づくり委員会、子育て応援PJが西区役所厚生部地域支えあい課と懇談しました。

西区役所厚生部支えあい課から地域支援担当課長の草野さんをはじめ4名の方がプラザに来られました。当生協からは健康づくり委員長の温品理事、健診センターの岡村科長、子育て応援から浜名理事をはじめ総勢9名が並びました。

まず当生協から、生協の組織のしくみや健康づくりの活動についてを温品理事、健診実施数から見える傾向についてを岡村科長、子育て支援の活動についてを浜名理事より報告し、続いて西区からは今年度新たに組織再編された「支えあい課」の説明や取り組み報告があり、子育て支援の取り組みや健康診断の来年度変更点を説明して頂きました。特に、健康診断では広島市の特定健診の受診率が政令市20市中17位で、広島市8区の中で西区の受診率が7位で大変残念な結果だということがわかりました。健診率の向上で健康寿命の延伸や医療費を抑えることにつながると訴えられました。

それぞれの取り組み報告の後の意見交換では、けんこうチャレンジのパンフレットの西区役所内の設置を快諾いただきました。今後もそれぞれの情報を共有しながら、得意分野を生かし連携していく事を確認して懇談を終えました。

笑いながら、学びました！

～中区南支部～

3月10日（水）中区南支部では安産亭徳丸を講師に落語調で「全世代型社会保障改革」について学びました。9名の参加でした。「全世代～」と聞くと、聞こえはいいが、実態はどうなのか。



小断を交えながらの学習会に、笑い声が響きました。

難しい問題だがわかりやすかった。戦中、戦後と苦しい時代を生き抜いてきた高齢者なのに、75歳になったら医療費の負担が増えるのはきつい、などと感想が聞かれました。